

## 労使間トラブル 経営者らが研修

金沢でセミナー

企業経営者らが労使間トラブルについて研修するセミナーが十八日、マリエールオーキパイン金沢で開かれ

た。金沢法人会が主催し、金沢市の三井敏彦・社会保険労務士を講師に招いた。写真。

三井氏は約五十人を前に、労使トラブルは主に採用、退職、労働時間の三種類に分類できると説明。労働時間では、未払い残業代と、過重労働による健康障害に関する相談が増えていると指摘した。

労使トラブルへの対応について三井氏は「会社は何でも自分たちで解決しようとするが、かえって話がこじれる。経営側がすべきこと、外部の専門家に任せることを整理して対応するべきだ」と訴えた。(北浜修)

